

## エバスマイクニ■クーラー＆ヒーター



今後新車代替に  
合わせて順次拡  
大する計画。導  
入のきっかけに  
ついて、山本社  
長は「待機時間  
を快適に過ごせ  
笑顔で握手す  
るエバス・ミ  
クニの角社長  
◎と富士陸送  
の山本社長

今後新車代替に  
合わせて順次拡  
大する計画。導  
入のきっかけに  
ついて、山本社  
長は「待機時間  
を快適に過ごせ  
笑顔で握手す  
るエバス・ミ  
クニの角社長  
◎と富士陸送  
の山本社長

# 労働環境改善に貢献

物流業界の労働力不足が深刻さを増す中、エバスペ  
ハヤミクニクライメット  
コントロールシステムズ  
(エバス・ミックニ、角幸一  
社長、神奈川県小田原市)  
のアイドリングストップク  
ーラー・ヒーターが、物流  
事業者の注目を集めてい  
る。富士陸送(山本由起子  
社長、東京都大田区)は、  
4月から海上コンテナ輸送  
用トラックにセットで導  
入。労働環境改善を図ると  
ともに、CSR(企業の社  
会的責任)のアピールにも  
活用している。  
富士陸送の保有車両はシ  
ヤシーを含め102台。運  
送事業では食品の冷蔵・冷  
凍輸送をメインとするトラ  
ック部門と海コン部門があ  
り、関東一円に6拠点を展  
開する。  
クーラー・ヒーターをセ  
ット導入したのは、待機時  
間の多い海コン輸送のトラ  
ック。現在は1台のみだが、  
平均1・5時間。1時間の  
アイドリングでの軽油消費  
量を2リットル、1日当たりの軽  
油価格を120円、月の稼  
働日数を24日とすると、ア  
イドリングで毎月8640  
円の燃料費がかかっている  
ことになる。  
「今まで待機中のアイド  
リングはやむを得ないと考  
えていたが、クーラーとヒ  
ーターを1年のうち9カ月  
間使用すれば、トラック1  
台で年間8万円の燃料費を  
削減できる。クーラー・ヒ  
ーターの導入費は60万円だ  
が、トラック協会の助成金  
を使えば48万円で購入で  
るようにすること、物流  
企業として環境に関するC  
SRに本気で取り組もうと  
思ったこと。ドライバーの  
反応、燃費改善効果を含め、  
とにかく試してみよう、と  
思い立った」と話す。  
同社の海コン輸送車両の  
1日当たりの待機時間は月  
平均1・5時間。1時間の  
アイドリングでの軽油消費  
量を2リットル、1日当たりの軽  
油価格を120円、月の稼  
働日数を24日とすると、ア

## 富士陸送、セットで導入

き、6年で投資の回収が可  
能」(山本氏)

ドライバーからも、待機  
中エンジン音がしないので  
静かな社内が快適に過ごせ  
ると高い評価を得ている。  
「クーラー・ヒーター装  
着車は、他社のドライバー  
からも注目を浴びているよ  
うだ。快適は輸送の安全、  
安心、安定につながる」と、  
今後も装着車を拡大する考  
えだ。

エバス・ミックニの角社長  
は「クーラー・ヒーターのメ  
リットは労働環境面での快  
適性向上、経営面での燃料  
費削減だけでなく、CSR  
に取り組むことでドライバ  
ーが仕事に誇りを持つこと  
ということも大きい」と話す。  
また、「低回転でエンジ  
ンに負担がかかるアイドリ  
ングを減らせば、DPF(ディ  
ーゼル排気微粒子除去装  
置)の故障も減らせる。欧  
州に比べ、日本の商用車の  
環境対策は遅れている。C  
SRを社会全体で進めるこ  
とが大事」と強調する。

(吉田英行)